

**S M B C 日興証券株式会社**  
**個人投資家様向けIRセミナー**  
**January 30,2024**

**Credit Saison Co.,Ltd.**

**東証プライム市場（証券コード :8253）**

# 会社概要 ※FY22



## 設立

1951年5月1日



## 健全な財務基盤

R&I A+



## 株主還元（配当）

100円／株 (FY23計画)  
※配当利回り約3.59%  
(2024年1月29日時点)



## 社員数

5,840名



## グローバル展開

7か国



## カード会員数

約3,500万人



## 連結純収益

3,226億円

※FY23計画：3,620億円



## 事業利益

609億円

※FY23計画：700億円



## 当期利益

435億円

※FY23計画：640億円

# 主な関係会社



## ペイメント

クレジットカード他決済サービス



資産運用



## エンタテインメント

チケット販売



アミューズメント運営



## グローバル

レンディング



インベストメント



## ファイナンス

不動産担保ローン



不動産ファイナンス

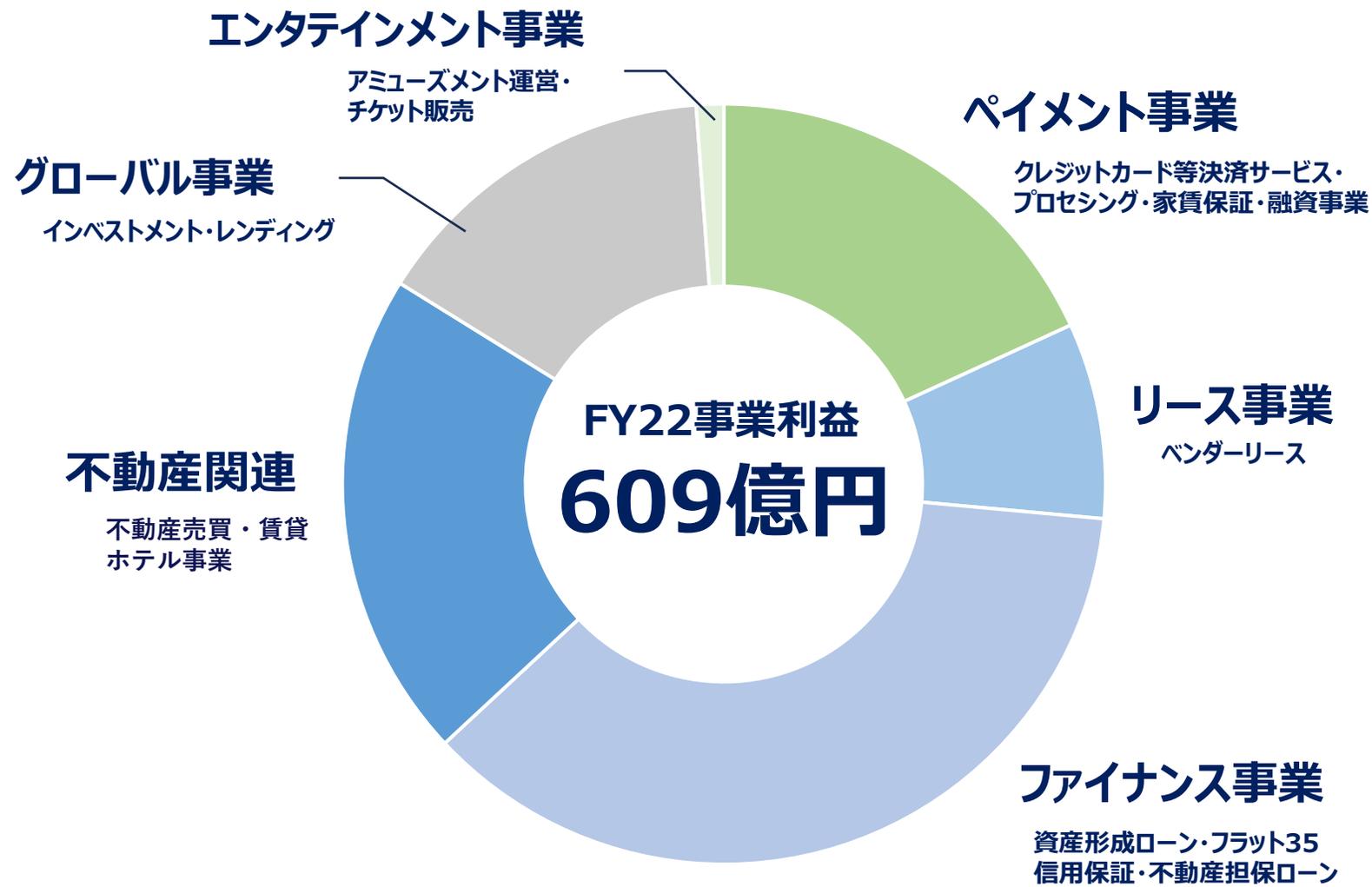


## 不動産関連

不動産売買・賃貸、ホテル事業



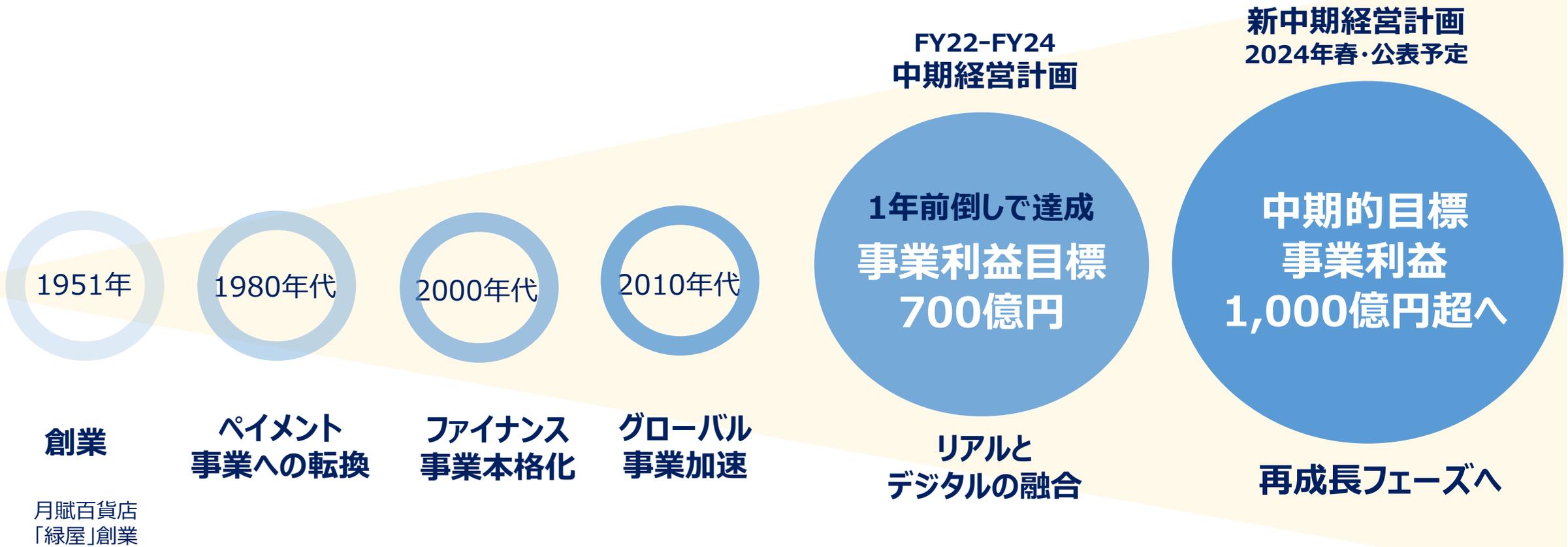
# 事業構成



# これまでのあゆみ

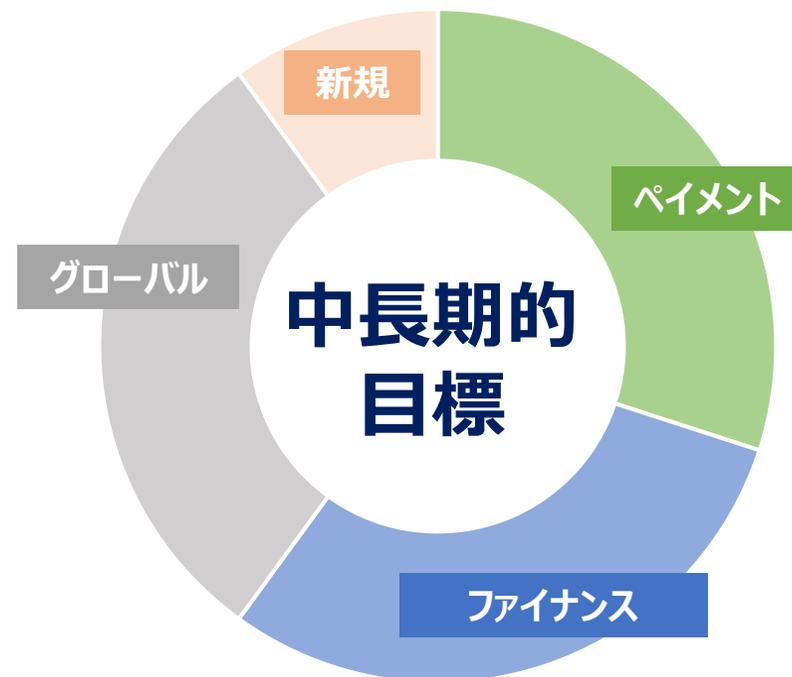
## <経営理念> サービス先端企業

社会・環境課題解決により、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会創りに貢献



# セグメント別事業利益推移

- ✓ ペイメント（クレジット事業）に依存しないビジネスモデルの構築を目指し、2000年代からファイナンス事業、2010年代からグローバル事業を強化
- ✓ 中長期的な事業ポートフォリオバランスは、ペイメント：ファイナンス：グローバル：新規事業が「3：3：3：1」の割合で構成される姿を目指す



※ペイメントは、ペイメント事業とエンタテインメント事業の合計

※ファイナンスは、ファイナンス事業・リース事業・不動産関連事業の合計

# 成長戦略

## ポートフォリオ変革

- ✓ ペイメント事業に頼らない事業の多角化を推進  
ファイナンス・グローバル・関係会社の**成長**
- ✓ ペイメント事業の戦略見直し

## 事業構造の“筋肉質化”

- ✓ 事業構造の転換に合わせたリソースの再配置と  
デジタル化の推進による効率化



中期的目標  
事業利益  
1,000億円超へ

# グローバル事業

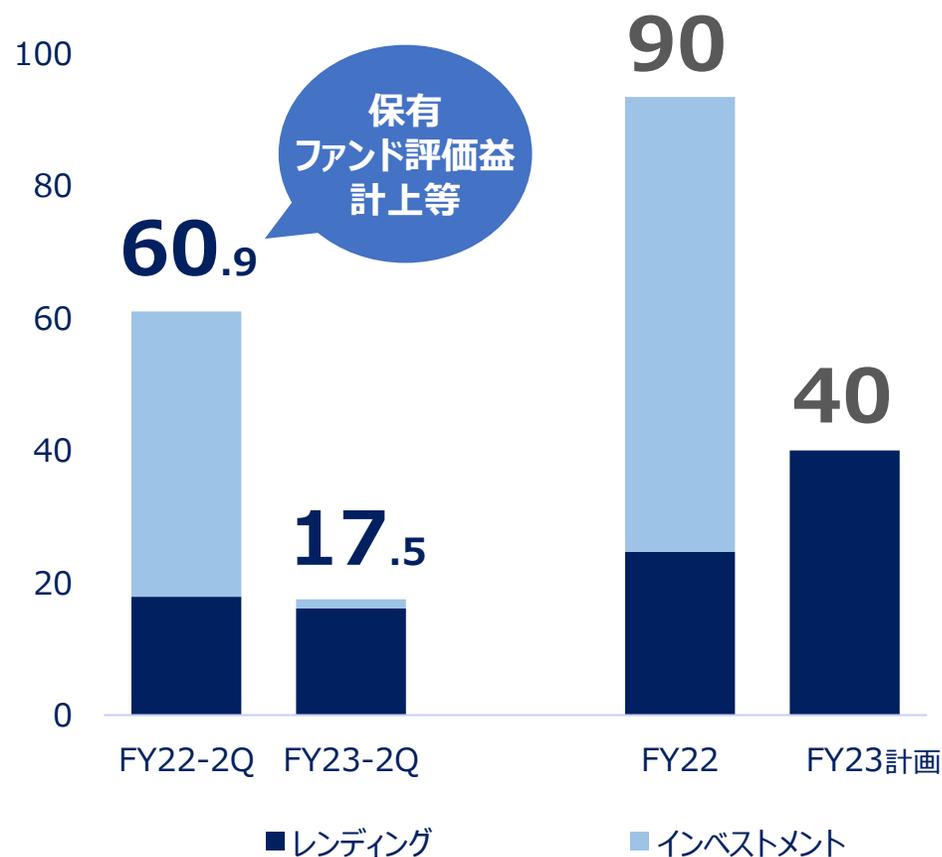
✓ “(Fin)Tech-led INNOVATION and INCLUSION”をテーマとして、  
レンディング事業とインベストメント事業の両軸で、7ヶ国へ展開



# グローバル事業

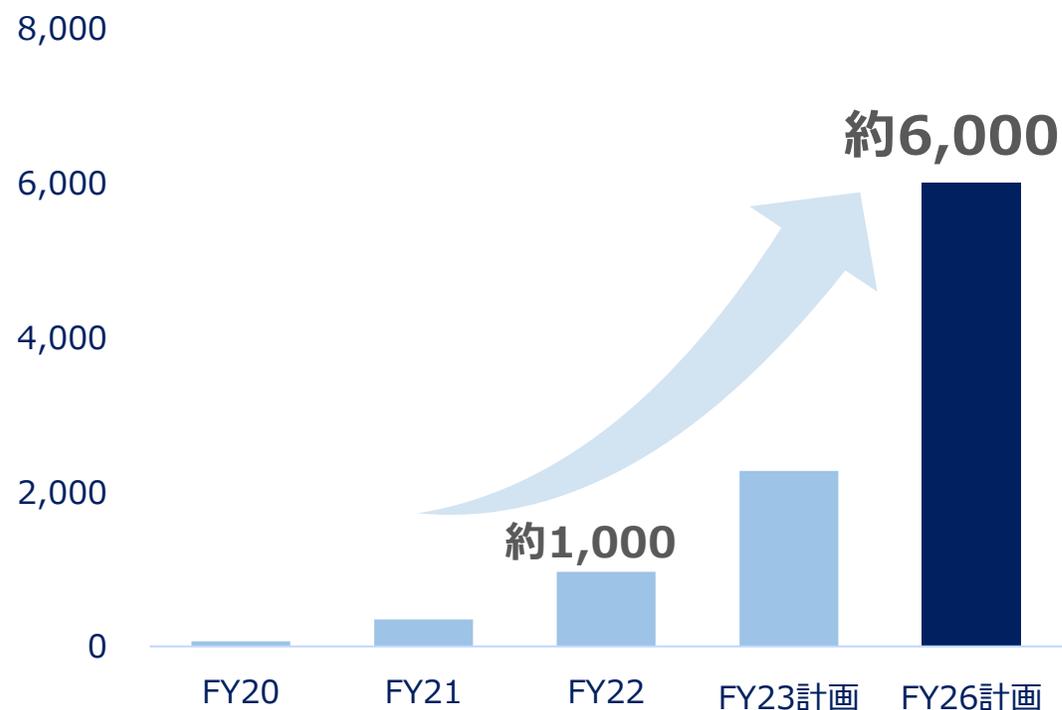
- ✓ インドをはじめとしたレンディング事業は概ね期初計画通りに進捗
- ✓ 今後、インドで培った知見・リソースを他国へ横展開していく（FY23よりブラジル・メキシコでの事業開始）

## ■ 事業利益



## ■ Credit Saison Indiaの債権残高

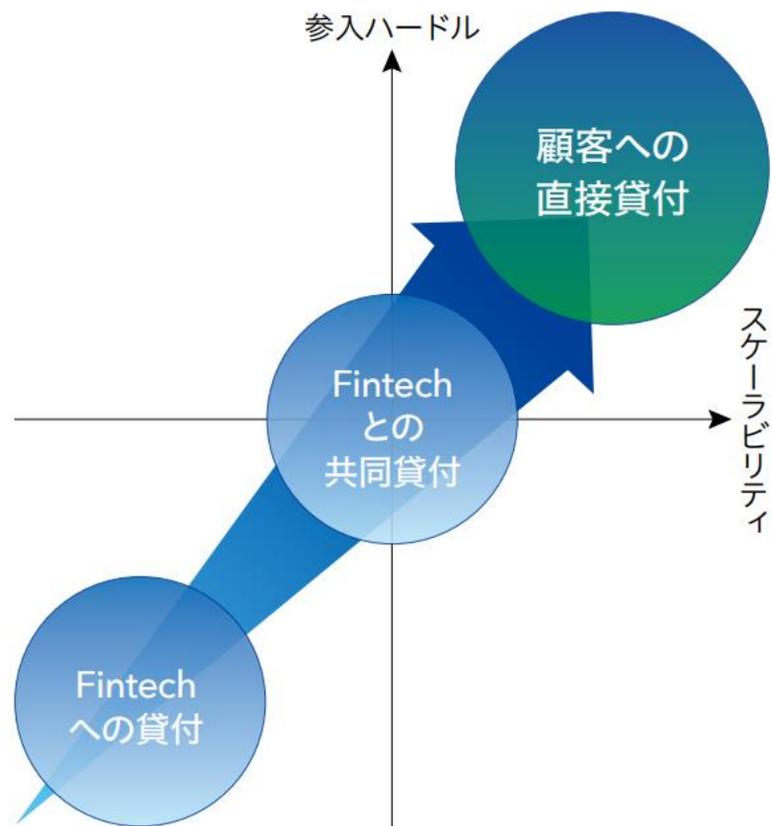
(単位：億円)



# グローバル事業

## ■ Kisetsu Saison Financee (India) の事業戦略

BtoBtoC→BtoCのステップ戦略



## ■ グローバルメンバー

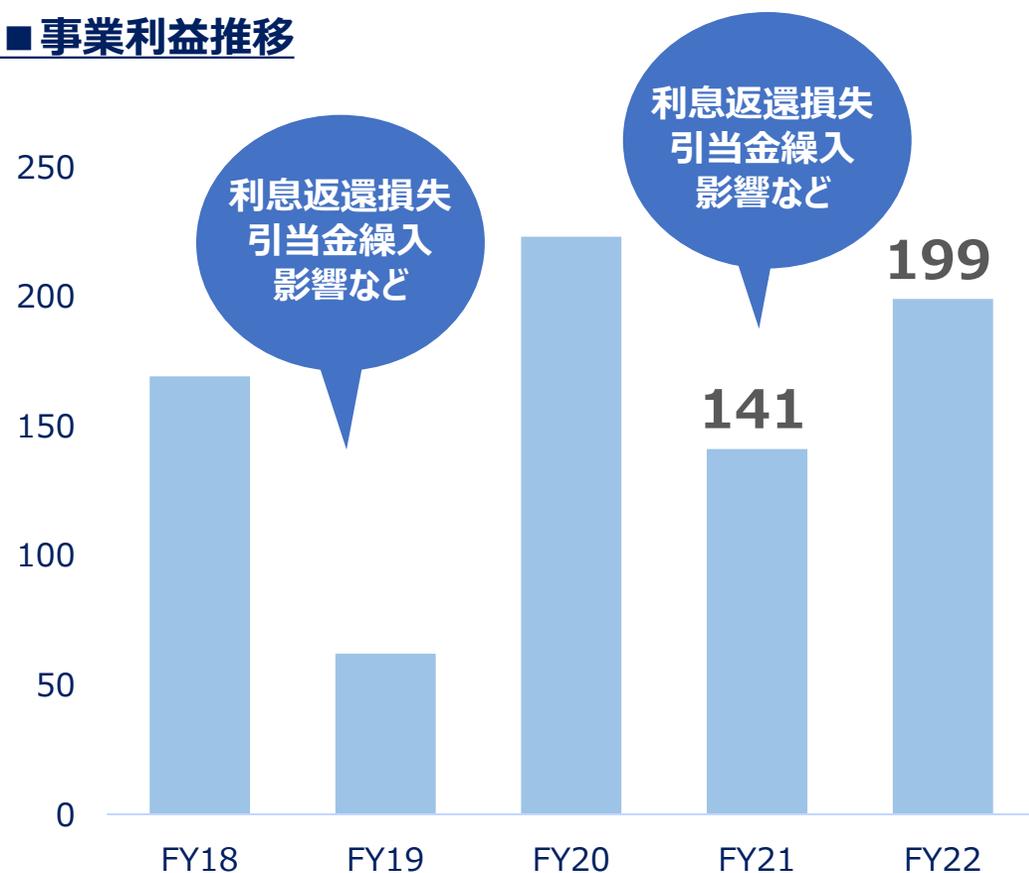
現地採用をメインに多様な国籍のメンバーを採用しており、連結子会社・持分法適用会社を含む海外拠点に8,000名を超える社員が在籍しています。  
※2023年6月時点



# ペイメント事業

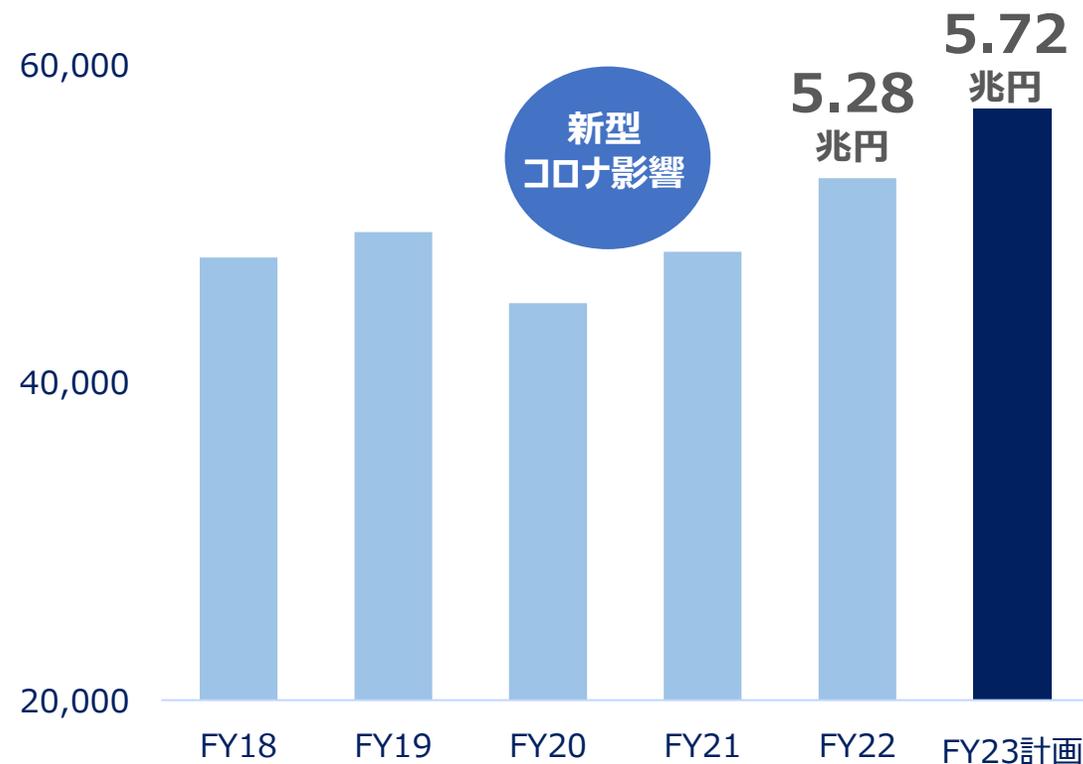
- ✓ メインカード化戦略やDX推進等により、稼ぐ力（収益・利益率）の向上へ
- ✓ ショッピング取扱高はコロナ前を超える水準へ回復し、順調に成長が続いている

## ■ 事業利益推移



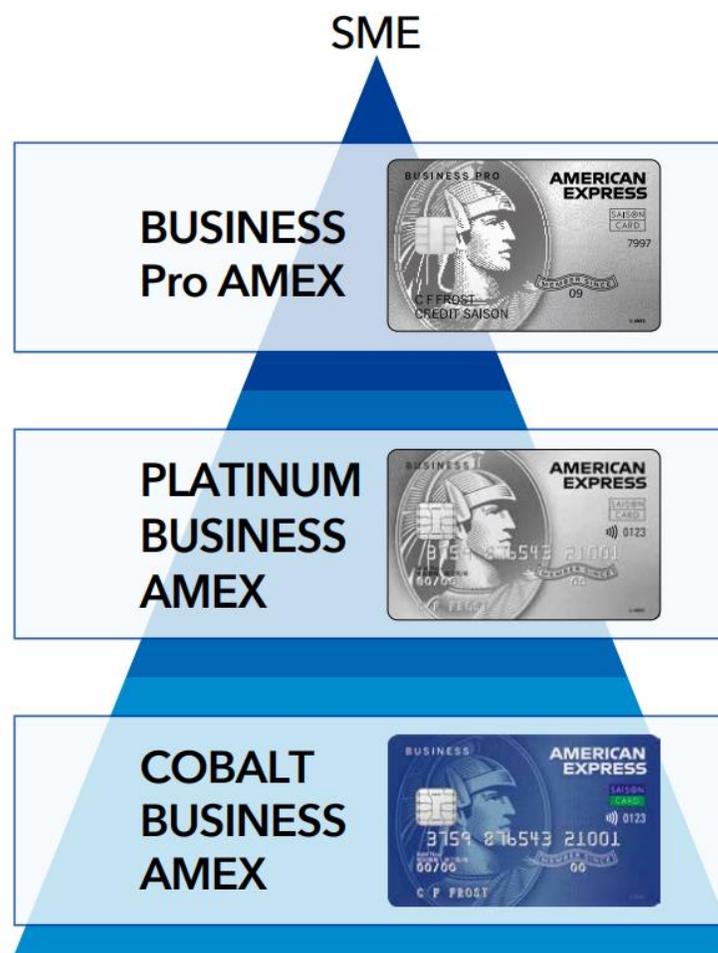
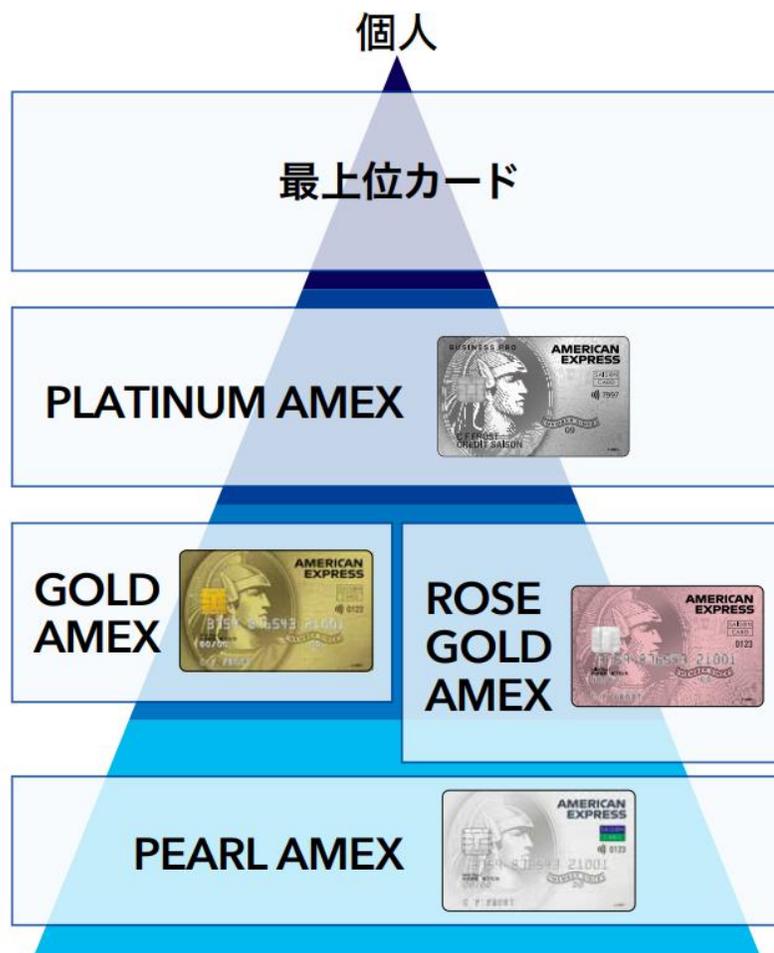
## ■ ショッピング取扱高推移

(単位：億円)



# ペイメント事業

## ■ AMEX戦略



# ペイメント事業

## ■ 新GOLD戦略

これまでのクレディセゾン

さまざまなアライアンス先の  
幅広い顧客層へアプローチ

プロパー  
カード



コンセプト  
カード



提携カード



インビテーション  
||  
“特別感の演出”

これからのクレディセゾン

「GOLDの特別感」+「日々利用したくなる特典」により、  
お客様から選ばれるメインカードへ

SAISON GOLD Premium



日本初「METALSURFACE CARD™(メタルサーフェスカード)」を採用

主な特典

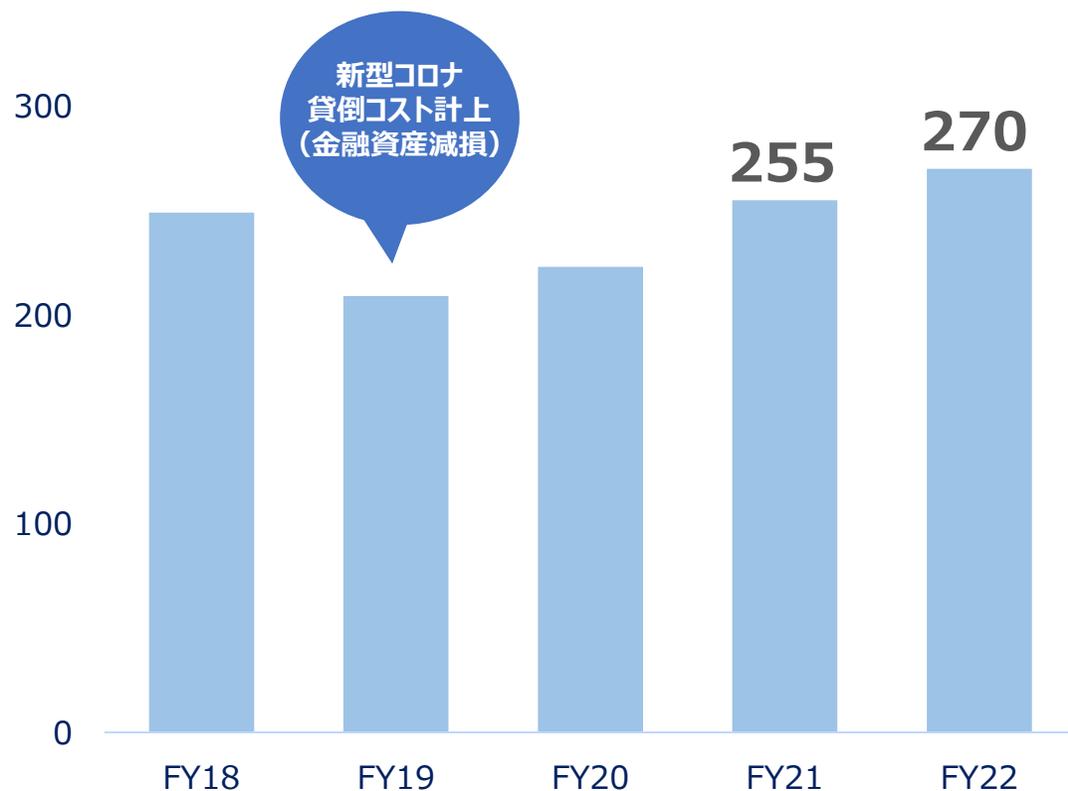
- 映画料金1,000円など140万件の優待
- コンビニ・カフェ・マクドナルドで「最大5%ポイント還元」
- 空港ラウンジ無料/旅行傷害保険
- 年間50万円ごとにボーナスポイント進呈



# ファイナンス事業

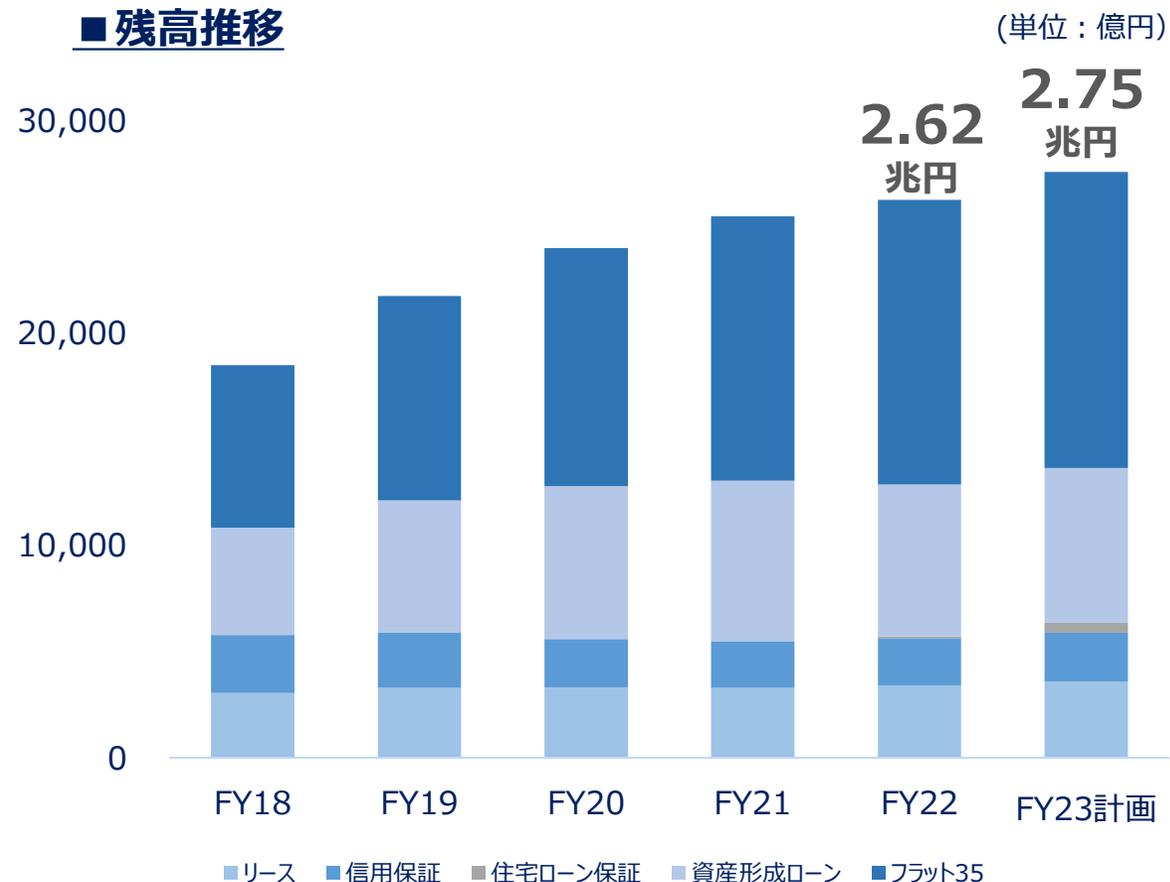
- ✓ コロナ禍でも残高は安定的な成長を続けるとともに、新たな事業領域への進出によりさらなる拡大を目指す
- ✓ ペイメント事業との融合、DX推進による収益拡大

## ■ 事業利益推移



※リース事業とファイナンス事業の合計

## ■ 残高推移



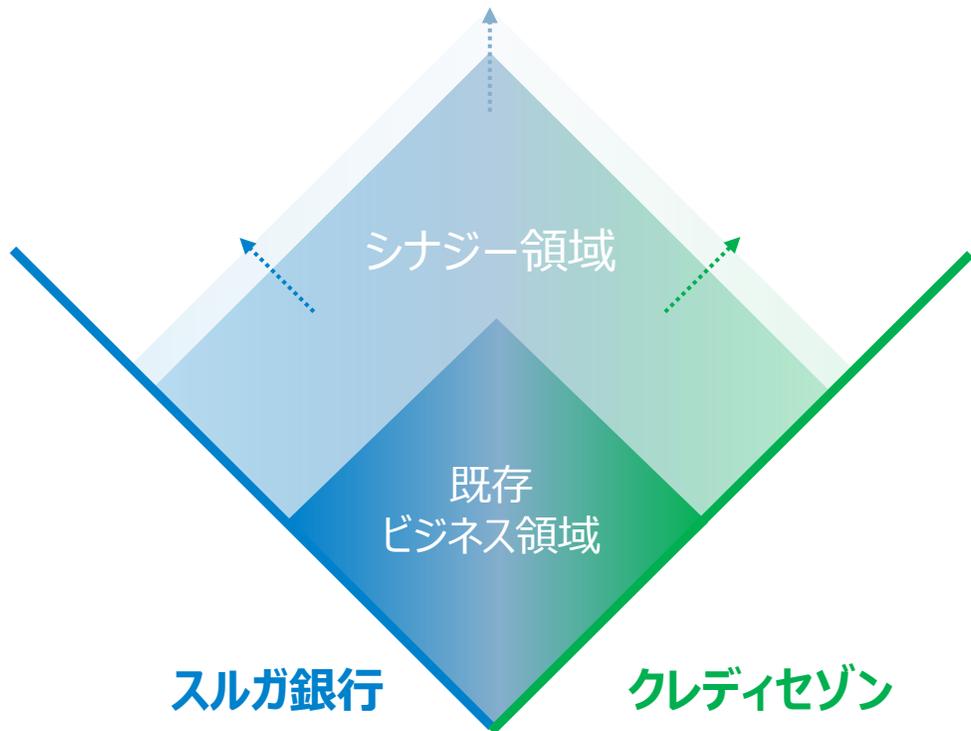
※単体リース事業とファイナンス事業の合計

# ファイナンス事業 –スルガ銀行(株)–

## < 目指す方向性 >

両社が協同することで競争力のある商品を新たに開発し、新規顧客開拓を推進。

12月以降も、両社で新たなマーケット向けの商品開発と協業を推進していく

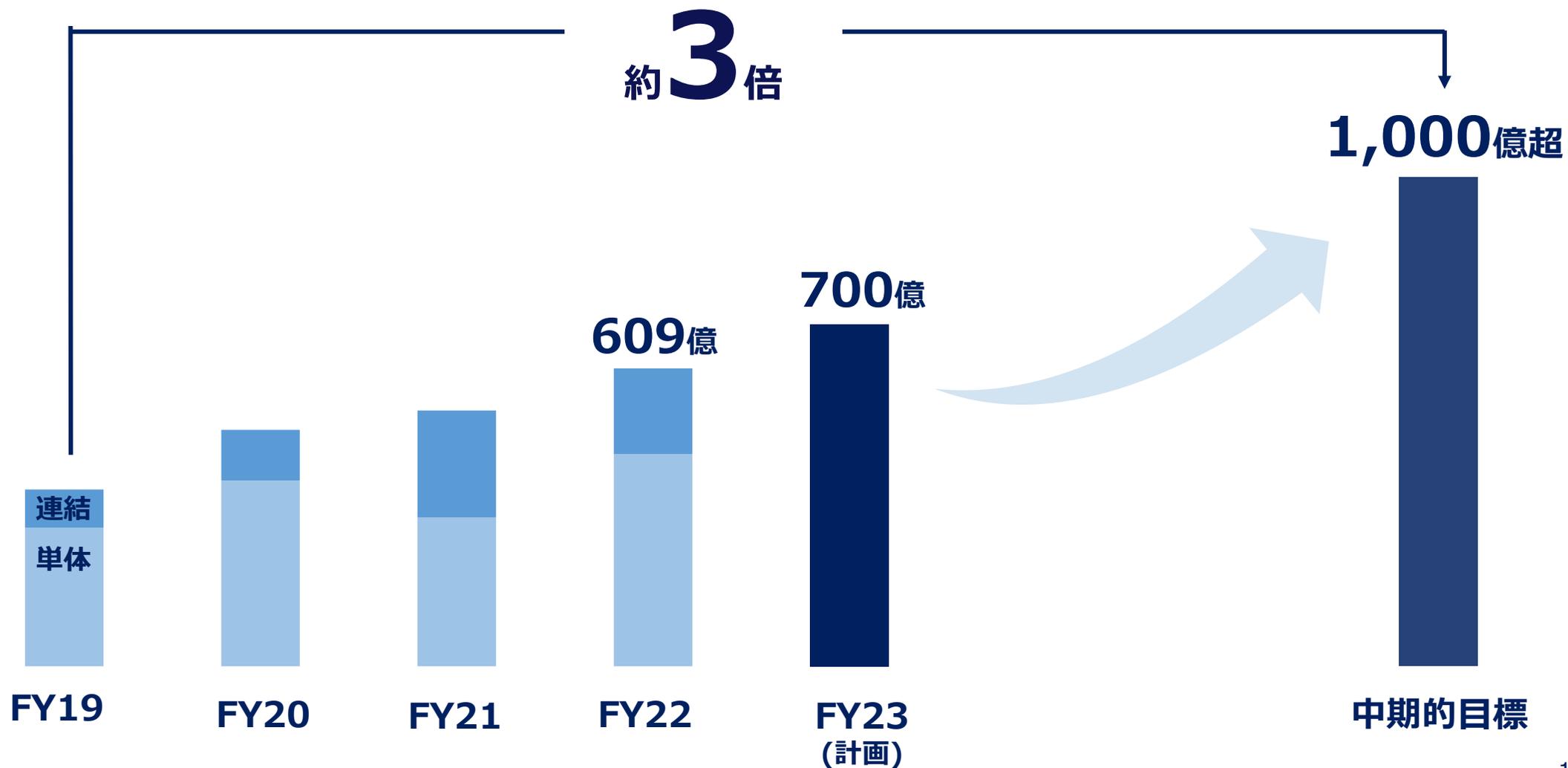


人材交流等による業務シナジーの追求

<b>不動産ファイナンスの共同展開</b> 2023年11月	<b>住宅ローン事業における連携</b> 2023年10月
「コラボレーションローン」の共同提供開始	スルガ銀行で「クレディセゾン保証付住宅ローン」取扱いを開始
 <b>Non-Bank</b> 「豊富な顧客取引先基盤」 「即時与信、即時取引で培った審査力」	 <b>スルガ銀行</b> <b>Bank</b> 「顧客との直接対話力」 「カスタムメイドの審査力」
事業領域合計で、今後5年間 (FY23 ~ FY27) 新規ローン実行額 <b>3,500億円以上</b> を目指す	
<b>セゾンプラチナビジネスAMEXカード共同事業化</b> 2024年春 (予定)	<b>スルガ銀行セゾン支店の設立</b> 2024年夏 (予定)

# 事業利益推移計画

- ✓ グループ企業の全社が変革を進め、中期的に事業利益1,000億円超を目指す



# 資本コストや株価を意識した経営実現に向けた考え方

詳細は、新中期経営計画で  
公表予定 (2024年5月)

## 企業価値向上の構成要素

## 重点施策

### 企業価値の向上

PBR1倍以上を目指す

#### 利益成長

事業利益1,000億円超

#### 資本効率向上

#### 資本コスト最適化

- ✓ 既存ビジネスの「稼ぐ力」の改善
- ✓ グローバル事業の拡大
- ✓ 成長投資による「稼ぐ力」の強化

- ✓ 生産性向上を意識した事業運営
- ✓ 政策保有株式の縮減
- ✓ CSDX戦略や人材育成・活躍

- ✓ 安定的・継続的な配当政策
- ✓ 機動的な自社株買い
- ✓ IRの強化

### < 余剰資本の水準 >

今後のオーガニック成長を加味した  
余剰資本の水準 約500億円

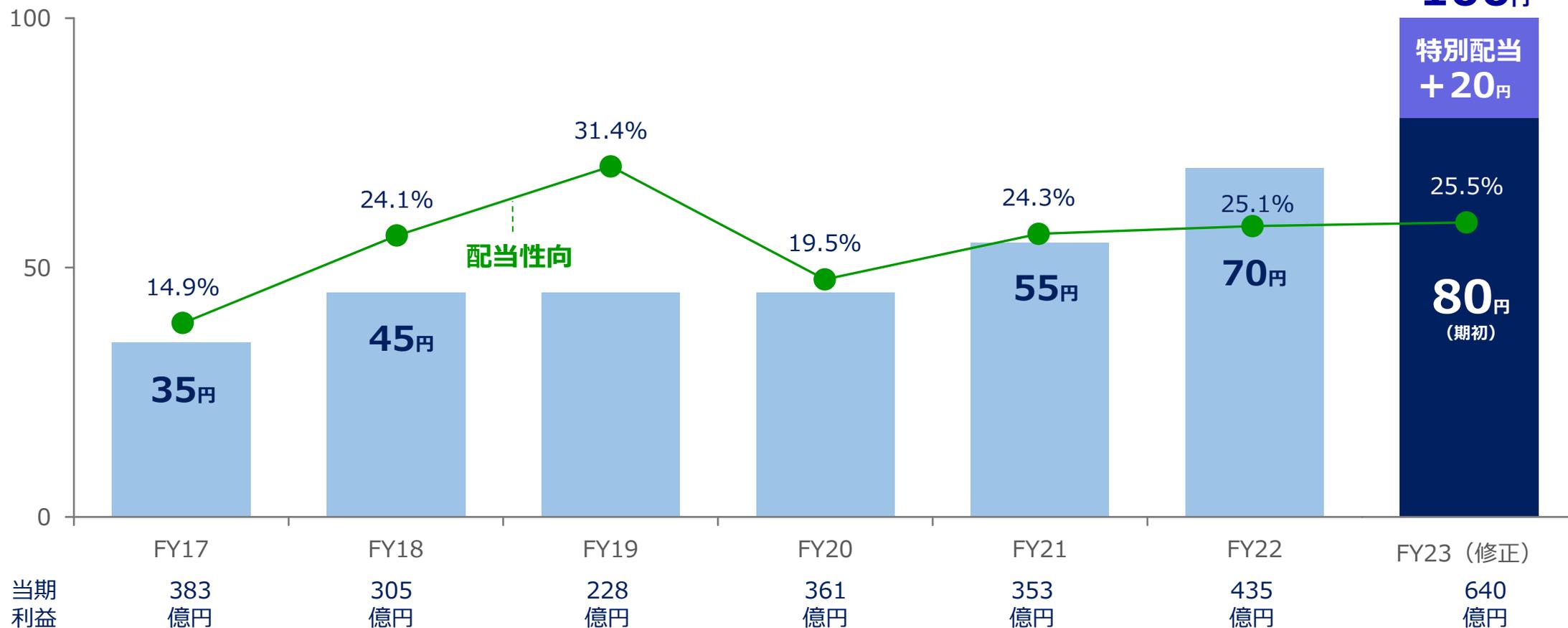
### < 自己株式取得に関する状況 >

自己株式取得を実施する方針に変更はなく、  
当社を取り巻く環境に見通しがつき次第、別途、当社取締役会において検討予定

# 株主還元・配当

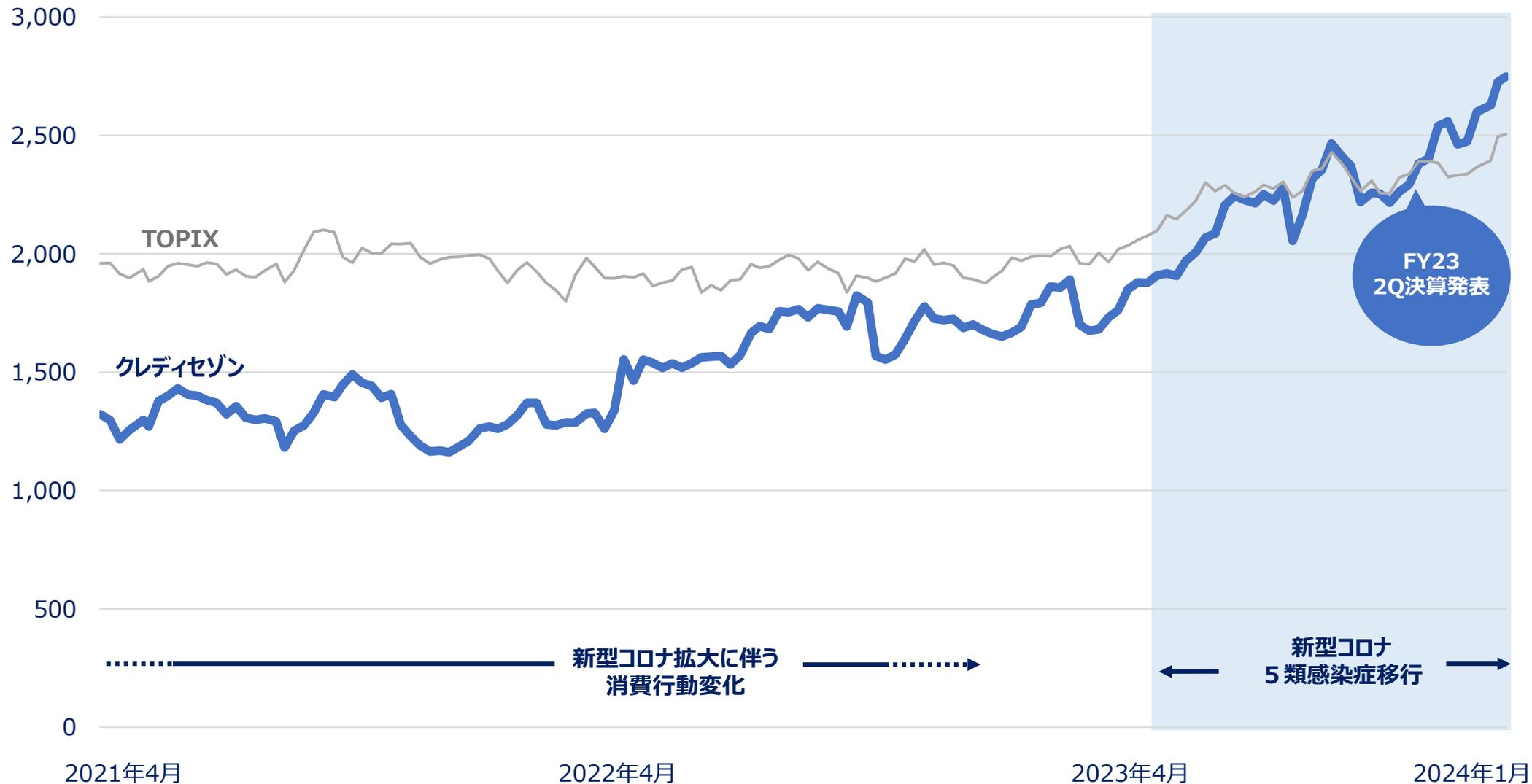
- ✓ 当社の配当基本方針は「安定的・継続的配当」
- ✓ 過去一度も減配なし
- ✓ 直近3年は増配を継続中

(1株配当金:円)



# 株価推移

(単位：円)



## ESG・外部評価（一例）



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2023年 初選定



DX銘柄2023  
Digital Transformation



2022年度 B評価



2023 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



最高位評価  
グループ1格付け

## 当社サイトのご案内

### IR・投資家情報

URL: <https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/>

### サステナビリティ情報

URL: <https://corporate.saisoncard.co.jp/sustainability/>

## レポート

### 2024年1月発行

### 統合レポート「Credit Saison Integrated Report 2023」

URL : [https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/integrated\\_report/](https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/integrated_report/)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報での判断および仮定に基づき予測算定しております。  
この当社判断や仮定による不確定性および今後の事業運営や経済環境など、内外の状況変化による変動可能性如何によっては、実際の業績などが見通しの数値と異なる可能性があります。